

## ご協力ありがとうございます！

(平成30年2月27日～3月27日、敬称略)

**新入会:** 墨谷信良、鎌田芳廣、加藤順市郎  
☆新入会、随時募集中です！！

**寄付金:** 三菱重工業(株)、(有)トリニティ、脇山公民館(株)池田冷熱工業、(有)ゼナ、古市雪枝、熊川工業(株)西鉄不動産(株)、(株)丸善自動車、(株)エフエム福岡、飯倉タクシー(株)、保育園ひなた村自然塾、(株)コイシ、早良商工会、明日香美容文化専門学校、オイスカチャリティゴルフ実行委員会、障がい福祉サービス事務所クレパス、オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟

**寄付品:** 小野泰司、北原順子、宗像市、本石昇

## 鬼木大明神 今月の一句

いつでも、どこでも、ありがとうを多く言おう！

ありがとうを多く言うとストロイマボハハ

くなるのだ。そして人前ではで

う！笑うことは最も簡単な

# 喝

## 退職のお知らせ

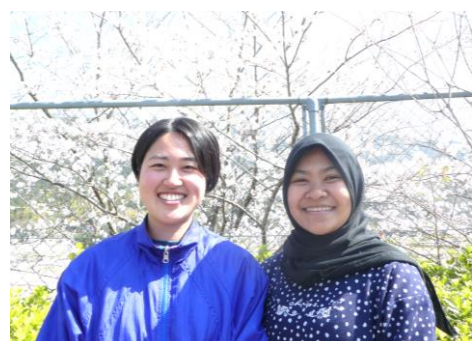
2016年から研修課でお世話になりました榮あずさです。この2年間、ほぼ毎日研修生と寝食共にし、また多くの方と出会い、世界と人が更に大好きになりました。この2年間は一生の宝物です。今後は、研修生のふるさとを訪ねながら、自分にできる国際協力の幅を広げていきたいと考えています。2年間、本当にありがとうございました。



## 新職員の紹介

昨年1年間、国際協力ボランティアで研修させて頂いた園田すみれです。4月～7月まで西日本研修センターで研修した後、中部日本研修センター、四国研修センター、インドネシアスカブミ研修センターで研修させて頂き、この4月から西日本の職員になることになりました。研修生が充実した研修ができるように研修生と協力して頑張ります。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

先輩研修生になるインタンさんと。→



## 4月の予定

2日(月)桜島植林地草刈り  
4日(水)研修生5名入所  
(インドネシア、メキシコ、スリランカ、チベット)  
6日(金)研修生(MUFGコース)10名入所  
(カンボジア、フィジー、インドネシア、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、パプアニューギニア)  
☆平成30年度研修生全員揃います！  
7日(土)対面式、オリエンテーション  
11日(水)国際ボランティア2名入所  
22日(日)脇山ソフトボール大会

## 新OB研修生入所

11年前の2007年、農業研修生としてこのセンターに在籍していたフィジーのニコさんが今度は、指導員研修のため来日しました。ニコさんは前回の研修後フィジーのオイスカセンターで指導員としてあたり、その後地元に戻り家族と日本で学んだことを活かし農業にいそしんでいました。今年に入りオイスカセンターに職員としてもどり、また更なる技術、指導力の向上のため再来日となりました。3月16日に来日しましたが、空港に到着したときは、半袖のシャツ一枚で平気な顔をして来ましたが、やはりまだまだ寒くすぐにセンターで防寒着を用意しました。大きな体でなかなか合う服がなく、服の袖やズボンの裾が短く少し寒そうですが、いつもニコニコのニコさんです。体は大きいですが、物静かで優しいニコさんが先輩OBナラさんと今年の研修生をリードしていきます。よろしくお願いいたします。(彦坂)



# まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部  
福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: [oisca@oisca.org](mailto:oisca@oisca.org) 検索 **オイスカ西日本**

第655号

平成30年4月号付録



←FacebookとInstagramに日頃の様子を更新中!  
是非チェックお願いします!



## 研修生上京、帰国

2月24日に修了式を終えた研修生、8ヶ国12名(パプアニューギニアのナラさんは6月帰国)は、3月7日に研修センターを旅立ちました。その間、お世話になった皆様への挨拶や、最終の視察を終えて帰国の途に就きました。毎年恒例ではありますが、帰国前は上京し、最終のプログラムへの対応を行います。

①3月7日、オイスカ首都圏支部&本部関係者へ研修報告、帰国後のアクションプラン発表

②3月8日、和泉学園小学部国際交流教室参加 オイスカ国際活動促進東京都議会議員連盟への報告会参加

③3月9日、MUFG本社にて MUFG コース研修修了式参加

④3月10日、MUFG 首都圏社員交流会&帰国後活動予定報告

⑤3月11日、やっとお休みで都内観光(築地市場、皇居、浅草、スカイツリー)

⑥3月12日、衆議院会館にて、オイスカ国際活動促進国会議員連盟設立50周年年式典参加

ほぼ毎日、多くの方々へ1年間、日本における研修の成果発表をさせていただきました。

3月13日、やっとお別れです。早朝より成田空港へ向かい、涙のお別れをしました。1年間の研修、彼らにとって決して忘れることのない時間だったことでしょう。帰国後は多くの課題、困難に直面することもあるかと思いますが、会員、関係者の皆様より頂いた熱い想いを胸に、着実に頑張っていくことでしょう。本当にありがとうございました。いつの日か彼らに会いに行ってください。センターとしてもその機会を作っていきます。4月からの新研修生、楽しみです。(廣瀬)



↑①アクションプラン発表(チョムさん)



↑②都議連の皆様からたくさんお土産を頂きました。



↑③MUFG 修了式



↑④美味しい料理ができました。



↑⑤雷門にて



↑⑥大使館の方もご参加頂き、お話をさせて頂きました。

## アクションプラン(帰国後の予定)紹介

オイスカフィジーセンターや、  
村の人たちに養鶏、堆肥の  
指導をする！ナダ(フィジー)

日本に来る前に働いていた BSD  
リゾートで野菜栽培をする！  
カムサ(カンボジア)

モンゴルではあまり  
ないぶどう栽培に挑  
戦する！  
バット(モンゴル)

美味しいスイカをつくる！  
イジャン(マレーシア)

日本の栽培方法で  
ぶどうをつくる！  
スイ(ミャンマー)

野菜の種や  
電柵を作って  
販売する！  
スディ  
(インドネシア)

オイスカの OB  
研修生達が栽  
培した野菜を  
集めて街で販  
売する！  
ミヤ  
(ミャンマー)



オイスカサバ研修センタ  
ーで堆肥、ポカシ、有機  
野菜の指導をする！  
セルス(マレーシア)

村の農家さん達と野菜  
栽培と養鶏をする！  
エディッタ  
(パプアニューギニア)

オイスカモンゴルで今  
まで栽培したことない  
新しい野菜の栽培をす  
る！トウヤ(モンゴル)

King of Farmer  
になる！  
チョム(カンボジア)

フィリピン料理と日本料理  
の良いところを融合した  
レストランをつくる！  
シュガー(フィリピン)

持続可能な農業を  
普及する！  
ナラ  
(パプアニューギニア)

## 体験農園だより

体験農園では四季折々にイベントを開催していますが、春に開催する人気のイベントといえば「野草の酵素づくり」があります。野草の酵素づくりは、センター周辺に自生している春の野草やその時に収穫できる農作物を早朝に摘み取り、その野草を細かく刻んで同量の白砂糖に漬け込んで発酵させるものです。完成した野草の酵素は、今話題の腸内細菌を活性化させるもので、身体の免疫力を高めたり体温を上げるなどの効果があります。今回は4月14日(土)に酵素づくり講習会を予定していますが、関心のある方は是非研修センターまでお問い合わせください。(豊田)



## 脇山お別れ会

3月3日(土)、脇山公民館にて脇山校区主催のオイスカ海外研修生お別れ会が開催されました。昨年は、脇山の皆さんと様々なイベントで楽しく交流を深める機会があったので、お別れ会にも50名を超える方に参加していただき、研修生に最後の激励の言葉をかけていただきました。研修生も帰国後のアクションプランの発表を一言ずつ堂々と披露し、先輩研修生である家政科研修生のシュガーからは、感動的なお礼のあいさつをさせていただきました。「脇山のみなさんは私たちの家族です」と嬉しそうに話をしていた研修生の顔が印象的でした。(豊田)

→ 脇山での思い出をたくさんお話し  
ました。



## 研修生送別会

3月6日にセンターで研修生送別会を行いました。参加者は研修生、先生、先生方の家族とオイスカのサポーター一人かが見えて、温かい雰囲気、小さいパーティーをしました。最後のセンターのパーティーなので、みんな自分の国の一番美味しい料理を作って出したいということで、色んな国の料理がありました。研修生は色々な歌を歌って、ダンスを披露して、ありがとうメッセージを送って、先生とサポーターの皆さんからも温かく、深いメッセージとか出し物をしてもらって、非常にいいお別れ会でした。でも…寂しい…(タン)



## 第6回グリーンウェイブ朝倉水源の森創り

3月11日(日)、第6回グリーンウェイブ朝倉水源の森創りが朝倉市荷原にあります寺内ダム上流の旧畜産団地跡地で行われました。当日は天気も良く暖かい陽気に恵まれ植林が行われました。今年も約140名が集まり、朝倉市で活動する企業や団体なども参加されました。特に中高校生だけで約90名が参加され、環境保全やふるさとづくりへの意識が高いように感じられました。この活動は10か年計画で行われます。来年も継続して行いますので、引き続きご参加、ご協力をよろしくお願い致します。(安東)

